

データヘルス計画については、平成33年度に計画の進捗状況と中間評価を行います。

個別の保健事業については、毎年評価を行っていきます。

\*データヘルス計画の目標値

項目	平成28年度 庄内町現状値	平成28年度 県内順位	平成35年度 目標値
①脳血管疾患の1件あたりの入院単価	652,356円	16位	減少
②心疾患の1件あたりの入院単価	670,283円	21位	減少
③人工透析患者数(特定疾病医療証の新規発行者数)	1人	-	減少

\*県内順位は総保険者数35か所中の順位

\*健康しようない21計画の「循環器疾患(脳血管疾患・虚血性心疾患)、糖尿病」分野での目標値

項目	平成28年度 庄内町現状値	平成28年度 県法定報告値	平成35年度 目標値
①特定健診受診率の向上	60.2%	47.6%	61.5%
②特定保健指導実施率の向上	32.4%	36.3%	38.0%
③内臓脂肪症候群の割合減少	23.3%	25.6%	23%以下
④血圧高値者の割合(収縮期血圧140mmHgまたは拡張期血圧90mmHg以上の要受診判定者)	48.7%	50.0%	40%以下
⑤脂質異常者の割合(LDLコレステロール値が160mg/dL以上の者)	男性:10.2% 女性:17.4%	-	男性:6.2% 女性:8.8%
⑥血糖高値者の割合(空腹時血糖126mg/dL以上またはHbA1c6.5%以上の者)	9.6%	9.2%	9%以下
⑦肥満者の割合(腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上またはBMIが25以上の者)	33.6%	35.9%	33%以下
⑧運動習慣なしの者の割合	84.5%	76.5%	83.5%
⑨毎日飲酒する者の割合	28.0%	27.0%	26.5%
⑩喫煙者の割合	14.6%	14.8%	14.2%

町民の取組～健康しようない21計画より～  
特定健診を積極的に受け、  
生活習慣の改善に努めましょう。

- 毎年健診を受け、自分の健康状態をチェックしましょう。
- バランスのとれた食事、禁煙、適正飲酒、運動習慣を身につけましょう。
- 適正体重を維持し、生活習慣改善に取り組みましょう。
- 精密検査は必ず受け、治療が必要な場合はしっかり継続して治療しましょう。



庄内町税務町民課 国保係 ☎42-0152  
庄内町保健福祉課 健康推進係 ☎42-0147

# 第2期庄内町国民健康保険

## データヘルス計画

(概要版：平成30年度～35年度)

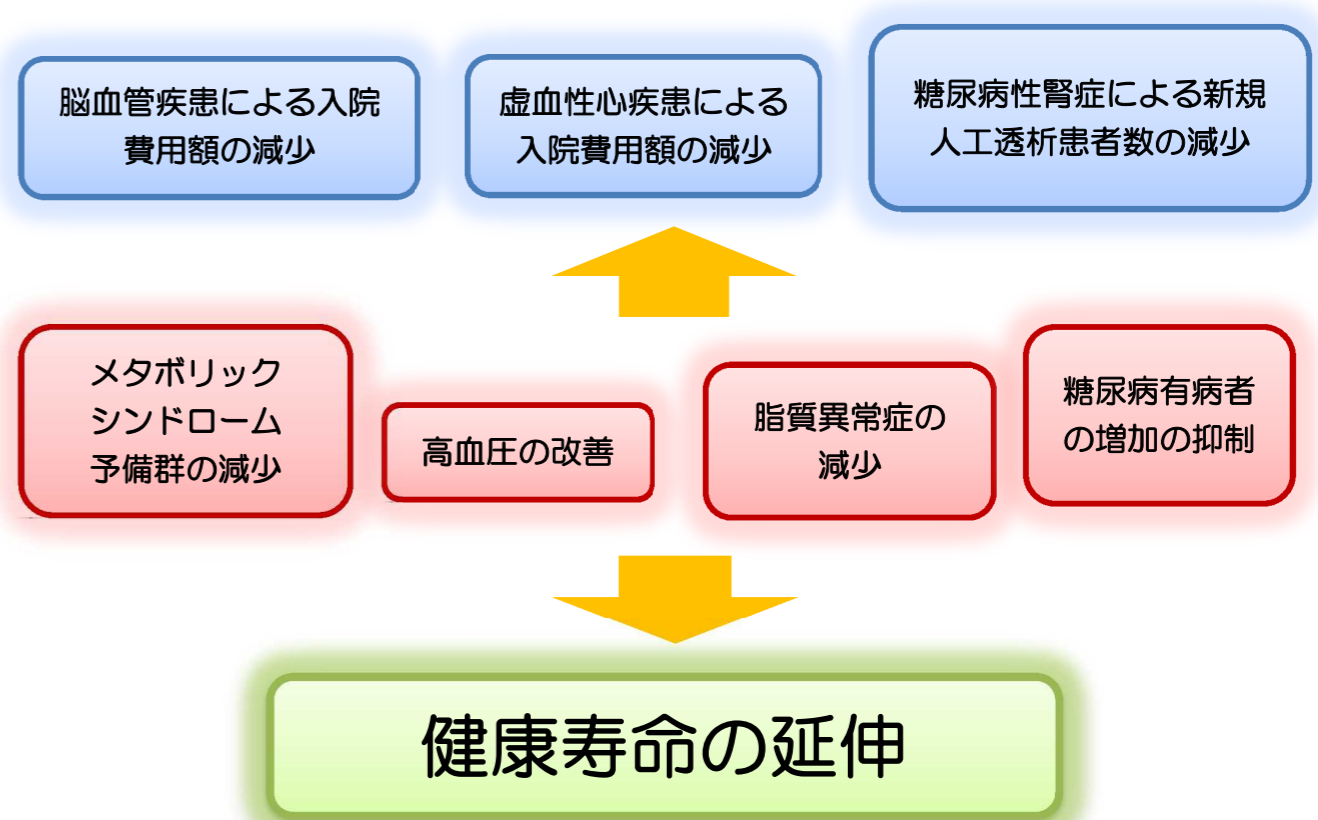
データヘルス計画とは・・・庄内町国保加入者を対象にした各種保健事業について、実施・評価・改善等を行うための計画です。医療情報や健診データを分析・活用して、効果的な保健事業を展開していきます。

### 計画策定の目的

庄内町国保加入者の健康寿命延伸のため、生活習慣病をはじめとする疾病の発症や重症化を予防すること、心身機能の低下防止の支援をすること、さらには、健康状態に応じて自ら行う健康の保持増進に向けた取組を支援することにより、生涯にわたる生活の質(QOL)の維持及び向上に資することを目的としています。

### 計画の数値的目標

脳血管疾患・虚血性心疾患による入院費用額を減少させること、糖尿病性腎症による新規人工透析患者数を減少させることにより、医療費や介護給付費の伸びを抑制していくことを目標とします。



# ★ 庄内町の健康課題 ★

～平成 28 年度までの各種データより～

## 1 特定健診結果データからの課題（検査数値）

- ◆ 血糖値（HbA1c）、BMI（肥満度）の基準値外該当者が、県・国の値と比較すると男女ともに多い。
- ◆ 受診者のうち男性の 49.6% の人の血圧が基準値外である。
- ◆ 受診者のうち女性の 61.3% の人の LDL コレステロールが基準値外である。
- ◆ 高血圧症、脂質異常症で服薬している割合が増加している。
- ◆ 健診を受けず、治療もしていない人がおり、健康状態を把握できない人がいる。
- ◆ 健診受診後に要受診と判定されたが、適切な医療に結びついていない状況がある。



## 2 特定健診データからの課題（生活習慣）

- ◆ 運動習慣（1回30分以上、1日1時間以上の運動）なしの割合が高い。
- ◆ 喫煙者の割合は、国と比較すると高い。
- ◆ 毎日飲酒する人の割合は、国と比較すると高い。

## 3 若年者健診データからの課題

- ◆ 男性の肥満が多い。
- ◆ 肝機能（GPT）、中性脂肪、血糖値が基準値外の人が多く、年々増加している。



## 4 医療費データからの課題

- ◆ 1人当たりの医療費は、県・国より高い。
- ◆ 医療費総額に占める割合は、高い順に①悪性新生物、②精神疾患、③筋・骨疾患となっている。

## 5 介護データからの課題

- ◆ 65歳以上の5人に1人が介護認定を受けている。
- ◆ 介護認定を受けている人の有病状況は、①心臓病、②高血圧症、③筋・骨疾患の順となっている。がんと脳卒中も多い。



## 6 日頃の保健活動から見える健康課題

- ◆ 血圧の薬は飲みたくない
- ◆ 健診会場ではいつも血圧が高い
- ◆ ご飯に漬物、惣菜で済ませることが多い
- ◆ 地域や職場での飲み会が多い 等

# 町の健康課題から、以下の保健事業に取り組みます！

病気の理解や生活習慣の見直し、改善について、正しい情報を提供していきます。

### 生活習慣病の予防

特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上を図ります。健診結果から、脳卒中や心臓病など生活習慣病の早期発見早期治療につなげ、重症化予防を図り、健康しようないマイレージ事業を継続していきます。

- 健診結果説明会・相談会
- 要受診判定者への受診勧奨と保健指導
- 特定健診未受診者への受診勧奨
- 特定保健指導での生活習慣改善
- 糖尿病予防教室 等

### 若年者の生活習慣病予防

若いうちから正しい生活習慣を意識し、生活習慣病の予防を行うことが重要です。若年者の健診を推進し、保健指導を強化します。

### 健康づくり事業

食生活改善や適度な運動は、生活習慣病を予防する効果があります。バランスのとれた食生活や運動に関する意識を高め、健康づくり事業への積極的な参加を促します。



### 禁煙対策

### COPDの予防

喫煙はがん、脳卒中、心臓病、糖尿病などに関連した危険因子であることから、禁煙は全ての生活習慣病に共通した生活習慣の改善となり、医療費全体の適正化にもつながります。

- 受動喫煙防止対策の推進
- 喫煙者への禁煙指導
- 健康教室等でのCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の情報提供と、予防の普及啓発

### がん対策

**がん検診は無料！**

「がんを防ぐための新12か条」について、健康教室や広報等で普及啓発を図ります。がん検診未受診者、精密検査未受診者には個別通知や電話等で受診勧奨し、受診率の向上を図ります。

### 介護予防事業

元気な高齢者を増やすため、高齢者への健康づくりや介護予防体操等の普及啓発を行い、介護予防の取組を推進していきます。

### 後発医薬品の使用促進

医療情報等に基づき、後発医薬品を使用した場合の具体的な自己負担の差額に関して、国保加入者に通知を行います。

### 重複・頻回受診者対策

医療情報等を活用して、同じ病気で複数の医療機関を重複して受診している人や、頻回に受診している人に対し、適切な受診の指導を行います。